

# 行財政改革の成果をお知らせします

— 地方分権時代の新たな行政システムの確立に向けて —

○職員数や給与等の削減など徹底した内部管理経費の見直しを進めました。

職員数は、469人（平成15年）から408人（平成20年）と5年間で61人、約13%を削減しました。

○平成19年度は、平成16年度と比較して全体で約6億3千万円の削減効果を得ることができました。

市では、簡素で効率的な行政経営を目指して、平成17年度から21年度までの5カ年を実施期間とした、「よしかわ行財政改革推進プラン」に取り組んでいます。  
今回は、平成19年度の行財政改革の成果がまとまりましたので、市民の皆さんにその概要をお知らせします。

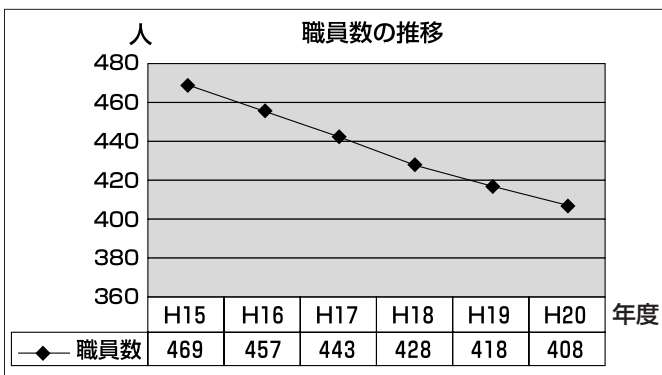


## ◆平成19年度の成果

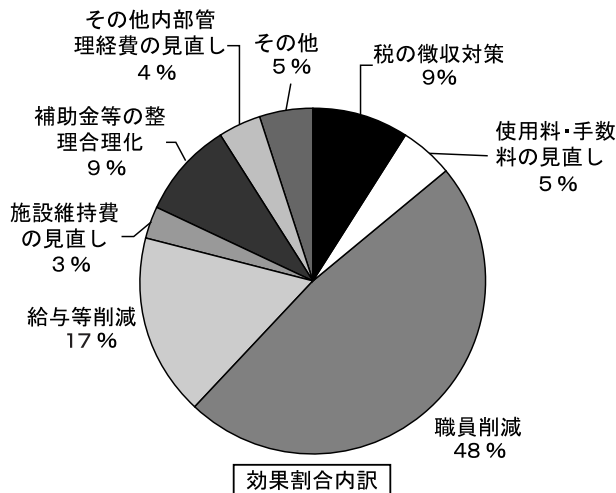
平成19年度は、行財政改革全体で約6億3千万円の効果を得ることが出来ました（右下円グラフ参照）。

この中で特に大きな割合を占めているのが、職員数（下点線グラフ参照）と職員給与などの削減で、年間の削減効果額が約4億1千万円、行財政改革全体効果額の約65%を占めています。

市では職員数を年々減少させていますが、市民サービスの質を落とさないよう、行政評価システム（事業の必要性や有効性、そして成果を明らかにして、そのあり方を検証する仕組み）やISO9001（企業や自治体などの組織が



（各年度4月1日現在）



効果割合内訳



## ◆外部委員会で進捗状況を確認

顧客に対して、一定の品質が確保されたサービスを提供できるシステムをつくるための国際規格などを活用して、小さくても仕事ができる市役所を目指していきます。

市では、行財政改革を着実に実行するため、市民や学識経験者で構成する行財政改革推進委員会を設置し、各種改革項目の取り組み状況や進捗状況の確認をいただいています。

委員会では話し合われた内容については、市ホームページで会議録を公開していますのでご覧ください。

行財政改革に関する計画の見直しを行いました

市の行財政改革は、その取り組み方針などの骨格を示した「第2次行財政改革大綱」と、その方針に基づき具体的な取り組み内容を示した「行財政改革推進プラン」から成り立っていますが、既に当初の目標を上回った成果を得ている項目などがあつたため、今年3月にこれらの一部見直しを行っています。

なお、これら計画類の見直しに当たっては、市民参画条例に基づき、事前にパブリック・コメント（案を事前に示して意見を伺う手続）を行い、そこでもいただいたご意見も踏まえ、見直しをしています。

※市の行財政改革に関する情報は、市ホームページ（URL: <http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/>）「行財政改革」のページからご覧いただけます。なお、このホームページでは、「ISO9001」や「行政評価」などに関する情報もご紹介していますので、ぜひご覧ください。

お問合せ 政策室 直通 ☎ 982・9445、FAX 981・5392